

林市長が第2回ユーラシア女性フォーラムに参加 「パブリック・リコグニション・2018アワード」を受賞しました ～ ロシア・サンクトペテルブルク市を訪問 ～

林市長は、ロシア連邦議会が主催する「第2回ユーラシア女性フォーラム」に出席しました。9月20日には「APECにおける女性と第4次産業革命のテクノロジー」をテーマとするセミナーにおいてオープニングスピーチを行い、9月21日には「日露文化対話」において女性活躍推進の重要性について意見交換しました。また、同フォーラムから、林市長の女性活躍推進に向けたこれまでの取組が評価され、「パブリック・リコグニション・2018アワード」を受賞しました。

さらに、サンクトペテルブルク市長やマリンスキー劇場の副総裁と面会し、今後の連携促進について意見交換を行いました。

1 セミナーでのオープニングスピーチ（9月20日、午前）

横浜市の女性活躍支援策の紹介を交えながら、技術革新が女性の社会参画を促すための大きなチャンスとなることを、参加者へ伝えました。※市長スピーチ要旨は次ページをご覧ください。



2 日露文化対話（9月21日、午後）

女性のエンパワーメントについて、日露の政策を比較し、知見の共有を行う「日露文化対話」に出席し、女性活躍推進の重要性について意見交換しました。※市長発言要旨は次ページをご覧ください。



3 パブリック・リコグニション・2018アワードの受賞（9月21日、午後）

林市長の横浜市ならびにアジア太平洋地域における女性活躍推進の取組が評価され、フォーラムの「パブリック・リコグニション・2018アワード」を受賞しました。これは、女性の地位向上等に貢献する女性への表彰で、世界各国から12名が選ばれ、林市長は日本の自治体の首長として初受賞しました。

※受賞を受けた市長コメントは次ページをご覧ください。



ロシア連邦議会マトヴィエンコ上院議長から表彰を受ける林市長

4 サンクトペテルブルク市長との面会（9月21日、午前）

ゲオルギー・ポルタフチェンコ市長と面会し、両市の主な施策を紹介し、経済やスマートシティなど、共通する都市課題解決について多岐にわたる意見交換を行いました。また、今後ワーキンググループを設けて具体的な交流を検討していくことで合意しました。



5 マリンスキー劇場副総裁との面会（9月19日、午前）

ロシアを代表するマリンスキー劇場のアンナ・クチェロバ副総裁と面会し、芸術を通じた青少年育成について意見交換を行いました。



【パブリック・リコグニション・2018 アワード受賞を受けての林市長コメント】

このような名誉ある賞をいただき、心より光栄に思っております。

市長に就任した当初より、すべての女性が能力と感性を活かし、活躍できるよう、待機児童対策や、起業・再就職・ネットワーキングの支援等に取り組んでまいりました。そして横浜市の取組を APEC 等の国際会議において紹介し、世界中の女性の活躍支援のために、ロシアをはじめ各国のリーダーたちと具体的な行動につなげてまいりました。

今後とも、国を越えて学び合い、励まし合い、横浜市はもちろんすべての女性たちが輝ける社会の実現に貢献していく決意です。

【参考：「APEC における女性と第 4 次産業革命のテクノロジー」市長スピーチ要旨】

- APEC では 20 年以上、女性と経済に関する議論が続けられており、近年は「技術革新」をいかに女性のエンパワーメントにつなげるかが、重要な論点になっています。
- 技術革新は、女性にとって、就業のチャンスを大きく広げ起業も促進する等、大きなチャンス。雇用者側にとっても、生産性の向上と働き方改革を促進する力となります。
- 横浜市としても、市内企業による柔軟な働き方の導入を支援しています。また先進技術をフックとする新たなサービスやビジネスの創出を促すべく、産官学のプラットフォームを稼働させています。
- 技術革新というチャンスをしっかりとらえ、ユーラシアの女性たちの活躍につなげていきましょう。

【参考：「日露文化対話」市長発言要旨】

- 私が働き始めた 18 歳当時、女性の仕事は男性の補佐にすぎませんでした。
- 男性と同じように責任のある仕事をしたいと何度か転職を重ね、自動車のセールスの仕事にめぐりあいました。
- 相手の気持ちに寄りそうセールスで売り上げトップを記録し、女性の強みである共感力や包容力の大切さを実感しました。
- その後、管理職、経営職を歴任した際も、部下を勇気づけ、相手との対話を重視することで組織を活性化させてきました。
- 一人ひとりの力が集まれば大きな力になります。だからこそ相手を認め、尊重することが大切なのです。
- 今日のご縁を契機に、共に女性が輝く社会の実現に向けて御一緒に取り組んでいきたいと思います。

※時間はすべて現地時間

※写真データをご希望の場合は下記問い合わせ先（いずれも可）までご連絡ください。

お問合せ先

政策局男女共同参画推進課担当課長	大友 喜一郎	Tel 045-671-4061	(フォーラムでの発表内容について)
国際局国際連携課欧州米州担当課長	長久 伸子	Tel 045-671-4721	(出張全体について)